

2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月10日

上場会社名 株式会社ドーン 上場取引所 東
コード番号 2303 URL <https://www.dawn-corp.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 宮崎正伸
問合せ先責任者（役職名） 取締役兼管理部長（氏名） 岩田潤（TEL）078-222-9700
四半期報告書提出予定日 2023年10月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年5月期第1四半期の業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年5月期第1四半期	252	△7.4	65	△3.1	67	△0.6	47	0.6
2023年5月期第1四半期	272	27.5	68	56.6	68	55.6	47	57.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	15.40	—
2023年5月期第1四半期	14.87	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年5月期第1四半期	2,424	2,222	91.7
2023年5月期	2,495	2,226	89.2

（参考）自己資本 2024年5月期第1四半期 2,222百万円 2023年5月期 2,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2024年5月期	—				
2024年5月期（予想）		0.00	—	17.00	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,460	6.7	493	11.3	496	10.0	343	6.9	110.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、業績管理を年次で行っているため、第2四半期累計期間の業績予想は開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年5月期1Q	3,300,000株	2023年5月期	3,300,000株
2024年5月期1Q	188,768株	2023年5月期	188,768株
2024年5月期1Q	3,111,232株	2023年5月期1Q	3,203,941株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記の予想の前提条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2023年6月1日から2023年8月31日まで)におけるわが国経済は、雇用や所得環境が改善するもとで、景気は緩やかに回復しております。しかしながら、全般的な物価上昇の長期化に加え、欧米各国の金融引き締めにより世界的な景気後退が懸念されており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の属する情報サービス産業界においては、生成AI等の大規模言語モデルの登場により新たな産業変革の兆しがみられるなか、当社の事業領域である公共システムの分野、とりわけ防災や市民の安全にかかわる社会課題を解決するテクノロジーの分野においても、革新的技術を活用した官民の共創の取り組みが推進され、新たな市場形成の動きが広がっております。

このような環境において、当社は、2022年度中期経営計画の最重点施策である「Gov-tech市場の深耕」を推進する一方で、ストレッチ目標の達成に向けて「社会課題解決サービスの創出」や「M&A・事業提携によるシナジー創出」に取り組むとともに、これらの達成を支える人材基盤の強化に注力しております。

具体的な取組みとしては、「Live119(映像通報システム)」について導入拡大を進めるとともに、「Live-X(映像通話システム)」は民間企業からの受注を進めているほか、災害対策本部での情報収集を支援する「DMaCS(災害情報共有サービス)」、地方自治体の業務等に関連する適時の情報伝達を支援する「Mailio(メッセージ配信サービス)」、自治体や警察が防災・防犯情報を配信するスマートフォンアプリ等、各種システムの積極的な提案に注力いたしました。

以上の結果、売上高については、ストック型収入であるクラウド利用料が契約数の積み上がりにより順調に増加し、ライセンス販売において消防防災を中心に新規受注があるなど増加要因があった一方で、コロナウイルス感染症対応向けメッセージ配信サービスの一部終了や、前年同四半期に大型の受託開発売上があった反動等が減少要因となったため、252,180千円(前年同四半期比7.4%減)となりました。

品目別の売上高は次のとおりであります。

品目	当第1四半期累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)	
	金額(千円)	前年同期比(%)
クラウド利用料	184,906	103.0
受託開発	42,273	56.2
ライセンス販売	21,018	153.8
商品売上	3,982	98.1
合計	252,180	92.6

利益については、コロナウイルス感染症対応向けメッセージ配信サービスが一部終了となった影響により売上原価が減少し、一部経費の削減により販売費及び一般管理費が減少したものの、売上高が前年同期比で減少している影響により、営業利益は65,931千円(前年同四半期比3.1%減)、経常利益は67,750千円(前年同四半期比0.6%減)、四半期純利益は47,909千円(前年同四半期比0.6%増)となりました。

なお、当社事業は顧客(大手企業や官公庁等)の決算期が集中する3月末にかけて売上計上される案件が多いため、第3又は第4四半期会計期間に売上高が偏重する傾向(業績の季節的変動)があります。

また、当社は情報サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、2,424,797千円となり、前事業年度末と比較して70,765千円の減少となりました。これは主に、投資有価証券が97,552千円、仕掛品が32,646千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が218,538千円、売掛金が5,856千円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、202,139千円となり、前事業年度末と比較して67,176千円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が16,938千円増加した一方で、未払法人税等が53,997千円、未払消費税等が6,656千円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、2,222,657千円となり、前事業年度末と比較して3,588千円の減少となりました。これは主に、四半期純利益を47,909千円計上した一方で、配当金49,779千円の支払い等により純資産が減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の業績予想につきましては、現時点において2023年7月11日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,788,011	1,569,472
売掛金	135,065	129,208
仕掛品	5,694	38,341
貯蔵品	2,921	4,096
その他	36,748	33,447
貸倒引当金	△135	△129
流動資産合計	1,968,307	1,774,438
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,086	3,973
工具、器具及び備品(純額)	4,006	3,824
有形固定資産合計	8,093	7,798
無形固定資産		
ソフトウェア	4,155	3,920
無形固定資産合計	4,155	3,920
投資その他の資産		
投資有価証券	452,121	549,673
その他	62,885	88,967
投資その他の資産合計	515,006	638,641
固定資産合計	527,255	650,359
資産合計	2,495,562	2,424,797

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,539	13,512
未払法人税等	76,945	22,948
未払消費税等	23,938	17,281
賞与引当金	—	16,938
その他	80,353	65,918
流動負債合計	196,777	136,599
固定負債		
長期未払金	11,590	11,590
その他	60,948	53,949
固定負債合計	72,538	65,539
負債合計	269,316	202,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,950	363,950
資本剰余金	402,323	402,323
利益剰余金	1,666,919	1,665,048
自己株式	△208,858	△208,858
株主資本合計	2,224,333	2,222,463
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,912	194
評価・換算差額等合計	1,912	194
純資産合計	2,226,246	2,222,657
負債純資産合計	2,495,562	2,424,797

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年6月1日 至2022年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自2023年6月1日 至2023年8月31日)
売上高	272,413	252,180
売上原価	89,753	75,349
売上総利益	182,660	176,831
販売費及び一般管理費	114,619	110,899
営業利益	68,041	65,931
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	11	—
有価証券利息	121	1,647
その他	5	160
営業外収益合計	149	1,818
経常利益	68,190	67,750
税引前四半期純利益	68,190	67,750
法人税等	20,563	19,841
四半期純利益	47,627	47,909

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。